

平成28年度第6回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成29年1月17日（火）午後2時30分～午後3時30分
開催場所	本庁 東庁舎3階 防災スペース
出席者	市長、副市長、総務部長、危機管理部長（代：危機管理課長）、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長（代：健康福祉部長）、産業観光部長、都市整備部長、教育部長、上下水道部長、病院経営推進部長
審議事項	
（1）伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（案）の見直しについて ＜教育委員会＞	

1 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（案）の見直しについて＜教育委員会＞

概要

「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（案）」策定から概ね5ヵ年が経過し、対象校における児童生徒数の推移など社会情勢や教育環境に変化が生じてきているため、その変化に対応するために基本計画（案）の今後の進め方について検討会を設置し、検討会より意見報告を受けたところである。

	検討会からの意見	教育委員会の方向性（案）
豊浜・北浜学区 の小学校について	4校統合	4校統合
二見地区の学校 について	小学校と同時期に、中学校も高台移転	中学校も小学校と同時期に高台移転 <u>A案、B案説明</u>
早修・中島・佐八 小学校及び上野小学校	中島小の場所で、3校統合。上野小は地元説明を経て統合。	宮川洪水浸水想定の関係もあり、様々な観点から検討中 <u>A案、B案、C案説明</u>
スケジュール	第1期は、現在の基本計画どおり進める。	第1期は現在の基本計画どおり進め、第2期以降については、第1期終了の目処がたった段階で検討
跡地利用	市の施策との整合性を図る	市の施策との整合性を図る

その結果を受け、今後の見直しの方向性について審議を行った。主な内容については、以下のとおりである。

主な意見・補足等

①豊浜・北浜地区の小学校について

- ・4校統合に反対ではないが、選択肢のひとつとして数年先の児童数の状況が不透明なため、(現行どおり)段階的に豊浜地区、北浜地区2校ずつを新設でなく経費をかけず統合する案は考えられないか。旧来の小学校、中学校の区域を意識しすぎなのでは。人口減少が進む中、街中に集中させることも検討する必要があるのでは。
 - 段階的な統合は経費の面、また地元の負担といった面から厳しい。街中への統合は、地元の理解が得にくい。地元の理解といった面からも豊浜+北浜のエリアで小学校1、中学校1は必要と考える。
- ・4校1つにまとめる案を採用した場合、候補地案はいつ出していくのか？
 - 小学校、中学校の連携がより密に図れるような場所を意識しているが、4校の間という表現にし今後調整したい。

②二見地区の学校について

- ・①と同じであるが、人口減少が進む中、旧来の小学校、中学校の区域を意識しすぎなのでは。街中に集中させることも1つ検討する必要もあるのでは。距離だけを判断基準にするのは疑問がある。1クラスになるぐらいであれば検討が必要では。
 - 二見中の平成34年の想定(推計)は1年2クラス、2年2クラス、3年3クラスの予定。
- ・A案は山を切り開くが、山を切って土砂災害の問題は生じないのか。
 - 調査済みで問題は生じない想定。
- ・二見は適正規模ではないが、距離的な面で他と統合が難しく二見エリアに1つ作るのと、距離的な問題はあるのに、上野小学校を早修、中島、佐八の統合校に統合させる明確な相違点はあるのか。
 - 上野小は、1学年が複式学級になっている。距離の問題で1クラス10数名でも通学の負担を考慮して残す方向であったが、複式学級の状態になると、教育の視点から見ても、統合も検討していかないといけない。ただし、2、3年すると解消する予定なので推移を見守りたい。二見は、想定ではあるが1学年2クラスあるのでそこに相違点がある。
- ・運動施設に関し、サンアリーナ周辺の体育施設の活用は考えられないか？
 - 生徒の移動の面から難しい。
- ・公共施設マネジメントの点から二見老人福祉センターも入れた複合化は難しいか？
 - 都市計画決定の面でハードルがあると思う。

③早修・中島・佐八・(上野)の統合について

- ・危機管理面から宮川の浸水予測の結果（これから出てくる勢田川の予測もあわせて）を見極めて判断をお願いしたい。
- ・この統合想定資料（教室数、敷地面、事業費等）には、上野小学校を統合した場合の想定がされていない。将来の4校統合の可能性もあるなかで検討要素にすべき。
- ・この早修・中島・佐八の統合は何年先の改築を想定しているのか。かなり先になると建築年度、浸水予測の面からの選択肢が絞られてくる。
- ・浸水想定区域に学校を建てるのが難しいのであれば、勢田川の浸水予測結果を受けて他にもそのような学校が市内にでてくる可能性がある。勢田川の調査結果を待って検討してはどうか。

結果

提案された教育委員会の方向性を基本とし計画(案)の見直しを行うこととした。

資料

付議事項書